



ご長寿おめでとうございます いつまでもお元気で!

9月の第3月曜日(本年は、9月19日)は、多年にわたり社会につくしてこられた高齢者を敬愛し、長寿を祝う『敬老の日』です。

9月12日(月)、敬老の日を前に平成23年度中に100歳になられる方と大崎町の最高齢者(105歳)の訪問見舞いを行い、長寿祝金・記念品を贈呈し、長寿をお祝いしました。

また、88歳、80歳(9月末日現在)の方々に対し、長寿祝い金を贈呈しました。

ご長寿の皆様方のますますのご健康をお祈りいたします。



◆◆平成23年度対象者◆◆

| | |
|------------|------|
| 最高齢者(105歳) | 1人 |
| 100歳到達 | 3人 |
| 88歳到達(米寿祝) | 63人 |
| 80歳到達(傘寿祝) | 206人 |



いい子に育ててごめんなさい! 子育て講演会

9月17日(土)、大崎町中央公民館において、子育て講演会が行われました。

講演会を主催したのは、大崎町子育て支援センターで、町内の子育てに取り組む家族約70名が集まりました。

安良保育園(霧島市)の理事長として、子どもを中心とする『解体保育』の実践に取り組む前原寛氏を講師に迎え、「いい子に育ててごめんなさい」と題した講演が行なわれました。

前原さんは、「最近の子どもは、思い通りになる世界で過ごしすぎている。子どもたちの心のゆがみは、普段の生活から。普段から子どもたちと散歩して会話をしたり、向き合う時間を大切にしてほしい」と訴えました。



▲「子どもに自然とふれあう時間を与え、対話を深めてほしい」と訴える前原寛さん



インターネットで国際交流! 大崎小学校

9月26日(月)に役場応接室においてインターネットを利用した国際交流が行われました。

大崎小学校6年生児童50人が参加し、インターネットを介して通話や映像の送受信ができる『スカイプ』を使ったテレビ電話でインドネシアデポック市第10中学校の子どもたちと交流しました。

大崎小の児童たちは、インドネシア語で挨拶を行い、会話が通じると歓声や拍手が起きました。インドネシアから、日本語で「こんにちは」「ご機嫌いかがですか」などメッセージが届き、お互いに質問を交えながら交流を深めました。

参加した子どもたちからは、「パソコンでインドネシアの子どもたちと会話できるなんてびっくりした」などの声が聞かれました。



▲参加した子どもたちは、インドネシア語や英語で自己紹介を行っていました。